

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する情報公開

福島県立医科大学神経精神医学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記のヒトゲノム・遺伝子解析研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年7月 福島県立医科大学 医学部 神経精神医学講座 講座主任
矢部博興

【研究課題名】精神疾患脳内分子表現型と遺伝子多型の関連解析

【研究期間】平成27年7月～令和7年6月

【研究の意義・目的】精神神経疾患の原因、病態への関与が考えられるタンパク質、脂質、核酸などの各分子の脳内発現パターンと、SNPsなどのゲノム情報を全ゲノム解析手法（GWAS）も適用して関連を解析することで、精神神経疾患の原因を究明し、病態に基づく新たな治療戦略を検討する。

【研究の方法】

①福島県立医科大学医学部神経精神医学講座の精神疾患死後脳バンクの検体、新潟大学脳研究所、精神疾患医療法人さわらび会福祉村病院長寿医学研究所の検体について、ご遺族が研究利用にも同意のもと解剖を実施した検体を選定する。

②凍結検体から解析を実施する場合は次項④の各測定方法に応じた形態での切り出しを実施する。ホルマリン固定・パラフィンブロック検体については、それぞれ顕鏡に適したスライス厚で切り出す。

③各検体は受付番号1685『精神神経疾患の病態解明に向けての死後脳集積システムと死後脳研究』、受付番号418『精神神経疾患死後脳研究における健常対照群としての剖検脳組織標本の検討』及び、受付番号609『精神疾患における薬物反応性・副作用発現に関する薬理遺伝学的検討』、受付番号1127『精神疾患死後脳研究における健常対照群として、医療法人さわらび会福祉村病院長寿医学研究所の福祉村ブレインバンクのサンプルを用いた解析』に基づいてコンプライアンスを遵守した取扱いをし、各共同研究施設の倫理規定にもそれぞれ従って対応する。

④浜松医科大学では、質量顕微鏡及び質量分析計を用いて、精神疾患の原因、病態への関与が考えられる分子の測定を行う。脂質の網羅解析とアミノ酸解析が主なターゲットとなるが、秋田大学生体情報研究センターで確立されたLC/MSを用いた定量系による測定ではアドバンストな微量解析も実施する。また、熊本大学薬学部ではMultiplexed-MRM法などの質量分析を用いて精神疾患の原因、病態への関与が考えられる分子の測定を行う。当講座ではMultiplexed法としては、Luminex 200を用いた解析や、生化学的、分子生物学的、解析（RNA・DNAの測定による遺伝子発現、in situ hybridisation、ゲノム解析、DNAメチル化解析、ELISA、免疫染色など）を実施する。また脳ゲノム情報解析として、遺伝子多型、体細胞変異、コピー数多型（CNV）、DNAメチル化など脳特異的ゲノム多型性の解析を、Genome-Wide Association Study（GWAS）や次世代シーケンサー（NGS）技術を用いて実施する。

研究責任者	神経精神医学講座 教授 矢部博興
主任研究者	会津医療センター精神医学講座 准教授 國井泰人
研究分担者	神経精神医学講座 博士研究員 松本純弥
	神経精神医学講座 博士研究員 日野瑞城
	神経精神医学講座 博士研究員 長岡敦子
	神経精神医学講座 大学院生 泉 竜太
	神経精神医学講座 大学院生 宍戸理紗

学外研究分担者	東京大学医学部附属病院 精神神経科 助教 和田明
	浜松医科大学医学部解剖学講座 細胞生物学分野 教授 瀬藤光利
	浜松医科大学医学部解剖学講座 細胞生物学分野 日本学術振興会

特別研究員 近藤豪

生理学研究所 神経細胞構築研究部門 客員教授 瀬藤光利

秋田大学生体 情報研究センター 助教 中西広樹

熊本大学大学院生命科学研究部総合医薬科学部門微生物薬学分野

教授 大槻純男

新潟大学脳研究所脳疾患標本資源解析学分野 教授 柿田明美

新潟大学脳研究所分子神経生物学分野 教授 那波宏之

東北大学災害科学国際研究所 教授 富田博秋

精神疾患医療法人さわらび会福祉村病院長寿医学研究所 赤津裕康

熊本大学大学院生命科学研究部 教授 岩本和也

理化学研究所脳科学総合研究センター シニア・チームリーダー

加藤忠史

東京都健康長寿医療センター・高齢者バイオリソースセンター 部

長 村山繁雄

浜松医科大学医学部解剖学講座 細胞生物学分野 学部学生有久巨

基礎生物学研究所・生物機能解析センター特任准教授 重信秀治

基礎生物学研究所・生物機能解析センター技術主任 山口勝司

理化学研究所脳科学総合研究センター チームリーダー チームリ

ーダー吉川武男

東京大学大学院医学系研究科 特任教授 廣川信隆

東京大学大学院医学系研究科 助手 田中庸介

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 部長 星野幹雄

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 部長 木村英雄

名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学分野 教授 尾崎紀夫

名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学分野 病院講師 久島 周

藤田医科大学 精神神経科学 准教授 池田匡志

【人体から採取された試料等の利用について】

生化学的、分子生物学的および組織学的解析に用いる。

【他の機関等への試料等の提供について】

ア 下記の機関へ試料等の提供を行います。

福島県立医科大学神経精神医学講座および学内基礎病理学講座。学外、浜松医科大学医学部解剖学講座 細胞生物学分野、基礎生物学研究所 神経細胞構築研究部門、秋田大学生体 情報研究センター、熊本大学大学院生命科学研究部総合医薬科学部門微生物薬学分野、東北大学大学院薬学研究科薬物送達学分野、東北大学災害科学国際研究所、東京大学大学院医学系研究科分子精神医学講座、理化学研究所脳科学総合研究センター、東京都健康長寿医療センター・高齢者バイオリソースセンター、基礎生物学研究所、理化学研究所、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学分野、藤田医科大学 精神神経科学

イ 上記の機関に提供される個人情報項目は次のとおりです。

連結可能匿名化した脳組織、臨床情報、解剖所見を提供します。

ウ 上記の期間への提供の手段、方法は次のとおりです。

倫理委員会の審査を受け承認をされた研究計画にのっとり試料を提供します。

エ なお、被験者ご本人又は代理人の方から、被験者ご本人が識別される個人情報を本学に所属する者以外の者へ提供することを停止する請求があった場合、それに応じます。

【本研究に関する問合せ先】

本研究に関するご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書および研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学医学部神経精神医学講座 担当 國井泰人

電話:024-547-1331 FAX: 024-548-6735

E-mail:bbs@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合のお問い合わせ先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者お本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じる事はありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部神経精神医学講座 担当 國井泰人

電話:024-547-1331 FAX: 024-548-6735

E-mail:bbs@fmu.ac.jp